

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（概要）

島本町教育委員会

調査対象・時期

調査対象 中学校2年生
調査時期 令和6年4月～7月の間に各学校において実施

実技集計結果（中学校・男子）

中学校 2年男子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R6全国	29.0	50.0	25.9	50.0
R6島本町	28.4	49.3	25.1	48.7
R5島本町	27.7	48.1	25.6	49.7

中学校 2年男子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	44.5	50.0	51.5	50.0
R6島本町	36.6	43.0	52.0	50.5
R5島本町	36.2	42.9	49.6	48.1

中学校 2年男子	持久走(秒)		20mシャトルラン(回)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	410.7	50.0	79.0	50.0
R6島本町			80.8	50.7
R5島本町			79.9	50.7

※中学校調査では、「持久走」と「20mシャトルラン」のどちらかを選択するものであり、R5年度、R6年度に実施した生徒はいませんでした。

中学校 2年男子	50m走(秒)		立ち幅とび(cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	8.0	50.0	197.2	50.0
R6島本町	8.0	50.1	192.9	48.7
R5島本町	7.8	51.8	187.9	47.0

中学校 2年男子	ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	20.6	50.0	41.9	50.0
R6島本町	19.2	47.9	39.2	47.6
R5島本町	18.6	47.1	38.5	47.4

実技集計結果(中学校・女子)

中学校 2年女子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R6全国	23.2	50.0	21.6	50.0
R6島本町	23.3	50.3	22.1	50.8
R5島本町	23.2	50.1	21.0	48.9

中学校 2年女子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	46.5	50.0	45.7	50.0
R6島本町	43.3	47.1	48.1	53.1
R5島本町	42.9	46.8	48.0	53.1

中学校 2年女子	持久走(秒)		20mシャトルラン(回)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	309.0	50.0	50.7	50.0
R6島本町			49.1	49.2
R5島本町			52.6	51.0

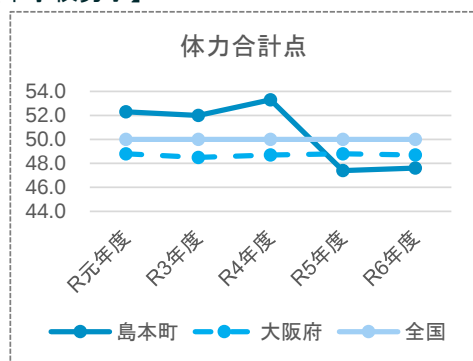
※中学校調査では、「持久走」と「20mシャトルラン」のどちらかを選択するものであり、R5年度、R6年度に実施した生徒はいませんでした。

中学校 2年女子	50m走(秒)		立ち幅とび(cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	9.0	50.0	166.3	50.0
R6島本町	8.8	51.5	165.0	49.5
R5島本町	8.8	51.2	162.4	48.5

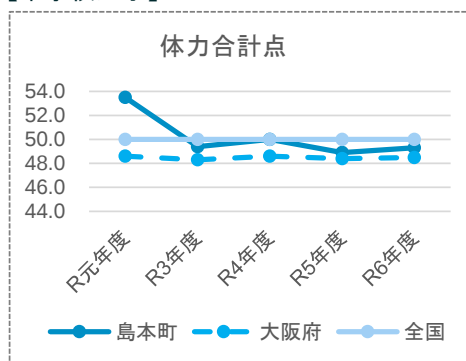
中学校 2年女子	ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	12.4	50.0	47.4	50.0
R6島本町	11.0	46.6	46.5	49.3
R5島本町	10.9	46.5	45.9	48.9

結果の概要(中学校) 体力合計点の経年比較(T得点【全国50とした比較値】)

【中学校男子】

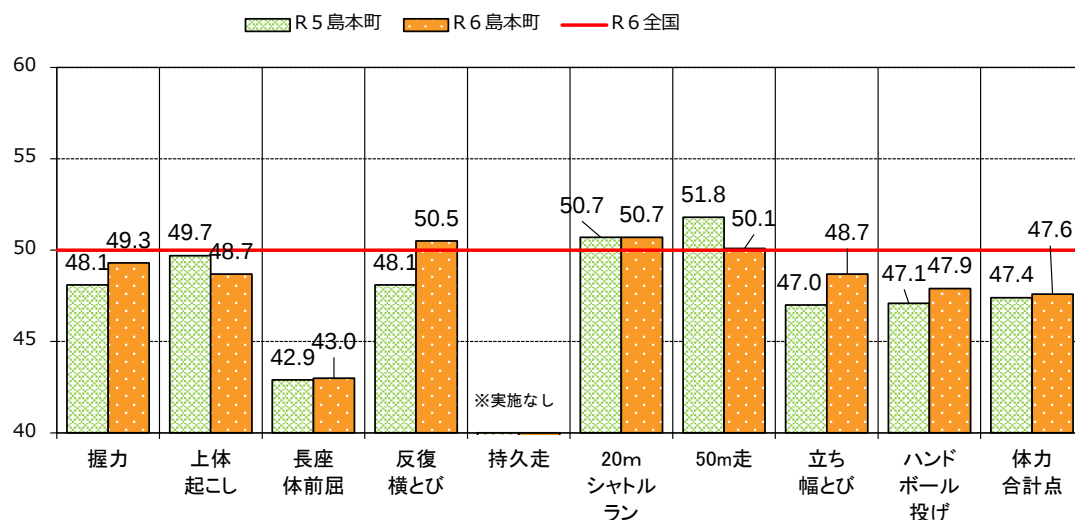


【中学校女子】



年度	中学校男子			中学校女子		
	島本町	大阪府	全国	島本町	大阪府	全国
R1年度	52.3	48.8	50.0	53.5	48.6	50.0
R3年度	52.0	48.5	50.0	49.4	48.3	50.0
R4年度	53.3	48.7	50.0	50.0	48.6	50.0
R5年度	47.4	48.8	50.0	48.9	48.4	50.0
R6年度	47.6	48.7	50.0	49.3	48.5	50.0

中学校男子 T得点【R6年度全国を50とした比較値】

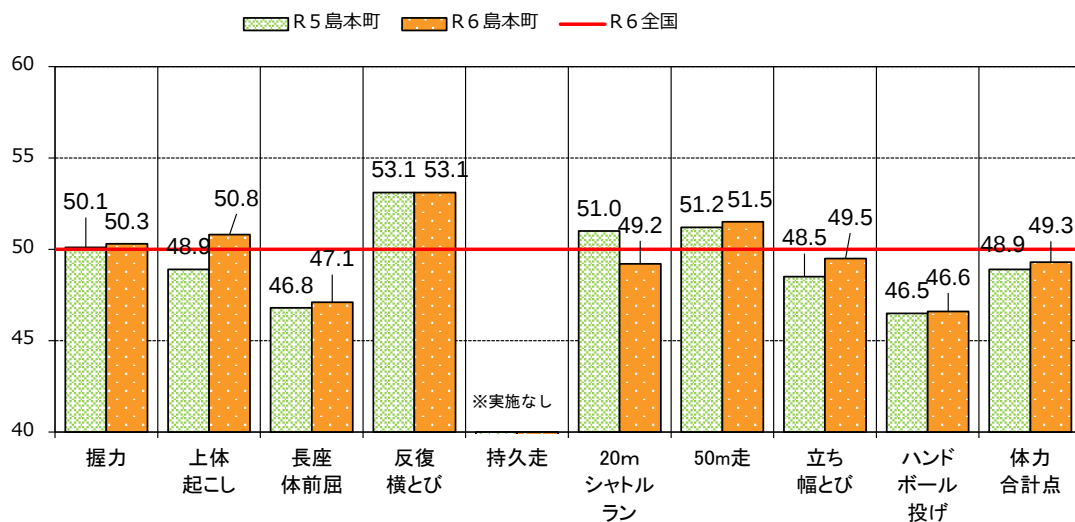


○種目別では、「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」が全国より高い結果となった。また、令和5年度と比較すると、「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の5種目でT得点が伸びている。・・・**成果①**

●体力合計点におけるT得点は、【47.6】で、令和5年度と比較して0.2ポイント増加した。

●令和5年と比較して、「50m走」が1.7ポイント、「上体起こし」が1.0ポイント減少した。また、「長座体前屈」は全国と比較して7.0ポイント低い結果であった。・・・**課題①**

中学校女子 T得点【R6年度全国を50とした比較値】

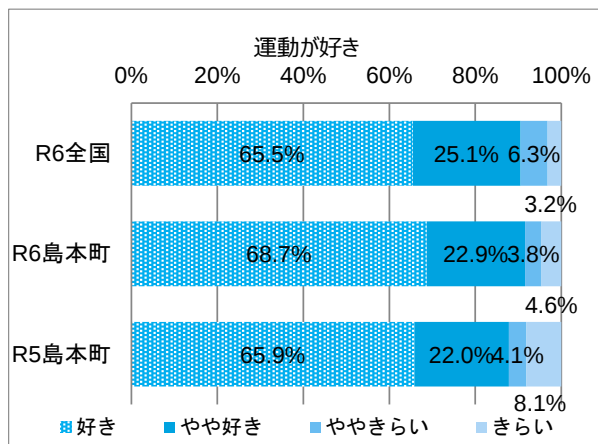


○種目別では、「握力」「上体起こし」「反復横とび」「50m走」で、全国より高い結果となった。また、令和5年度と比較すると、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の6種目でT得点が伸びている。・・・**成果①**

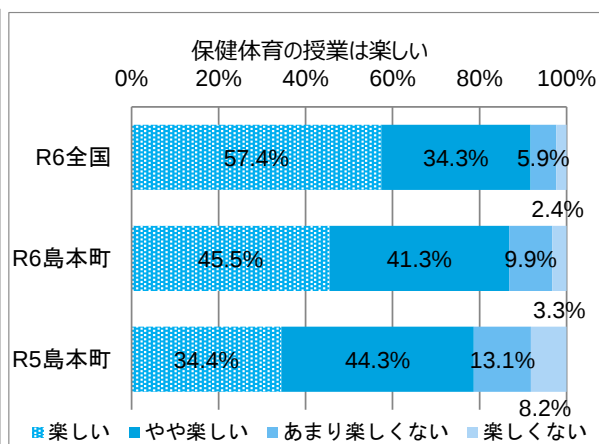
●体力合計点におけるT得点は、【49.3】で、令和5年度より0.4ポイント増加した。

●令和5年度と比較して、「20mシャトルラン」が1.8ポイント減少した。・・・**課題①**

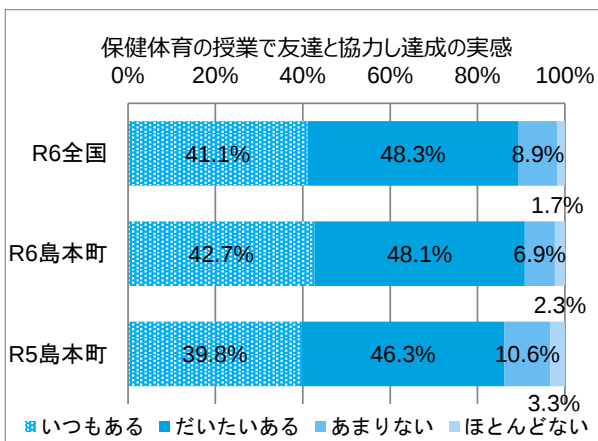
運動習慣等調査(中学校・男子)



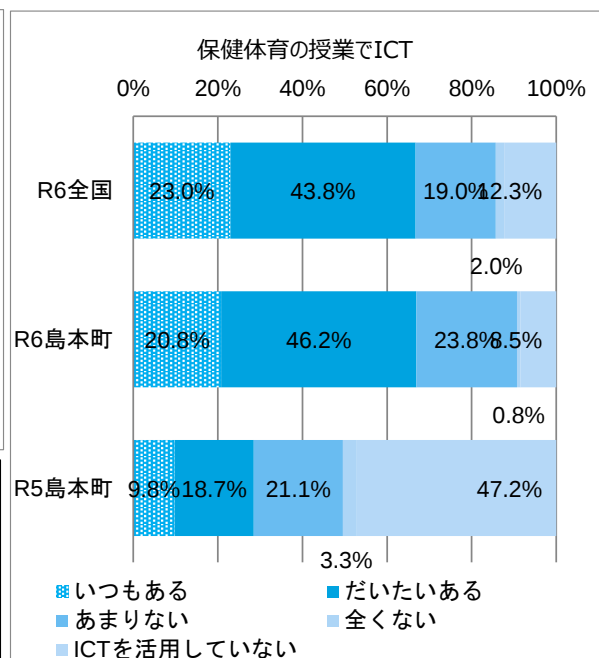
「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「好き」と回答した割合が2.8ポイント高くなり、全国と比較しても3.2ポイント高い。・・・課題①



「保健体育の授業は楽しいですか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「楽しい」と回答した割合が11.1ポイント高くなった。しかし、全国と比較すると11.9ポイント低い。・・・課題①

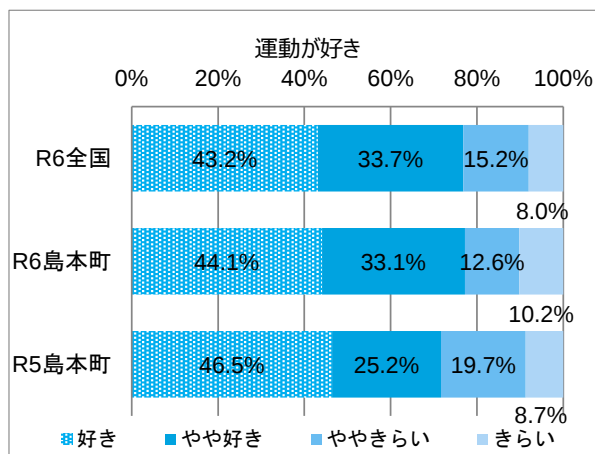


「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「いつもある」と回答した割合が2.9ポイント高くなった。全国と比較しても1.6ポイント高い。・・・成果①

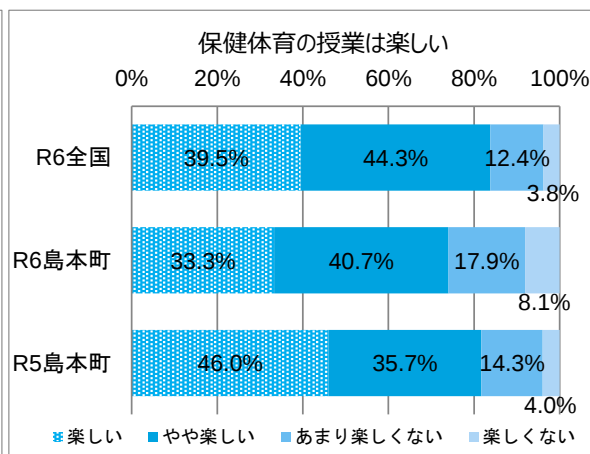


「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、全国と比較して「いつもある」及び「だいたいある」と回答した割合が0.2ポイント低い。しかし、令和5年度本町と比較すると38.5ポイント高くなった。・・・成果②

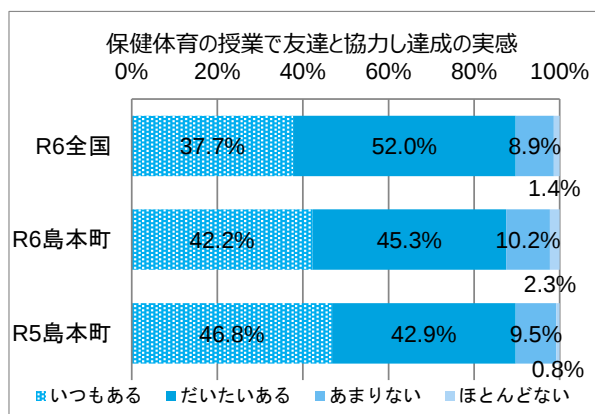
運動習慣等調査(中学校・女子)



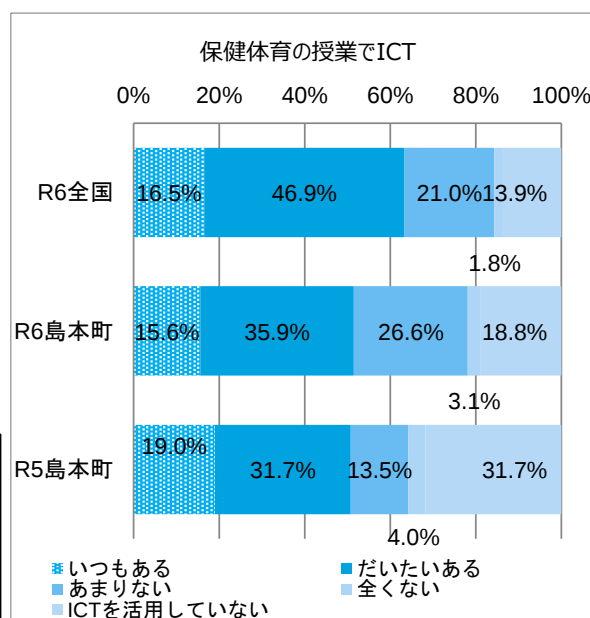
「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「好き」と回答した割合が2.4ポイント低くなった。しかし、全国と比較すると0.9ポイント高い。



「保健体育の授業は楽しいですか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「楽しい」と回答した割合が12.7ポイント低くなった。また、全国と比較しても6.2ポイント低い。・・・課題①



「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「いつもある」と回答した割合が4.6ポイント低くなった。しかし、全国と比較すると4.5ポイント高い。



「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「いつもある」及び「だいたいある」と回答した割合が0.8ポイント高くなったが、全国と比較すると11.9ポイント低い。・・・課題②

調査結果の分析と今後の方策【中学校】

分 析

【成果】

○男子では3種目、女子では4種目で全国平均を上回り、男子では5種目、女子では6種目で令和5年度を上回る結果を出している。また、「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして、「できたり、わかったり」することがありますか。」の強肯定回答割合においても、全国平均を上回る割合となっている。

○男子の「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」について、令和5年度本町と比較して、肯定的回答割合が大きく増加した。

以上のことから、授業内でICT機器を用いる等した授業改善が着実に行われ、その結果生徒が自らの熟達を認識することができていると分析できる。

【課題】

●男女ともにT得点が全国平均と比較して3.0ポイント以上低くなっている種目がある。また、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」及び「保健体育の授業は楽しいですか。」の強肯定回答割合が全国平均や令和5年度結果と比較して低くなっているところがある。

●女子の「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」について、令和5年度本町と比較して、肯定的回答割合が増加したものの、全国平均と比較すると低い状態が続いている。

以上のことから、先述した授業改善は推進されつつあるものの、一部の種目・内容については苦手意識を持つ生徒が一定数いること、ICTを積極的に授業へ取り入れることについては、研究の余地があることが伺える。

今後の方策

①「見方・考え方」に立脚した学習を推進する。

⇒学習指導要領における「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること」を目指した、多様な授業実践を行う。

②日常における体育・健康における指導を盛り込んだ計画を立案する。

⇒特別活動や運動部活動との関連を図り、日常生活における体育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践できるようにする。

③特質に応じた言語活動の充実を図る。

⇒筋道を立てて練習や作戦について話し合う活動や、個人生活における健康の保持増進や回復について話し合う活動などを通して、コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促すことで、生徒が協働的な学習による充実感を得られるようにする。